

平成 28 年 11 月 2 日 稲羽中学校認知症キッズサポーター養成講座
生徒さんからの声 (受講後アンケートより抜粋)

① 今日の講座の中で心に残った事・家族に伝えたい事を書いてください。

- ◆ 認知症とは、病状の名前を表すものであって、なった人そのもののことを表すものではない、というイメージを受けました。
- ◆ 私の祖父母は 85 歳をもうすぐすぎて、だんだんボケてきています。私は夜おそく寝ているので、夜中祖母と会ったとき、もういややわと泣いているのを見ました。お話を聞いて、心や気持ちはちゃんとあると聞いて、祖母を思い出し、ジーンとききました！
- ◆ 家族や身の回りの人が認知症になってしまったら、優しく接することや、認知症になってしまった本人の思いを受け止められるように伝えていきたいです。
- ◆ 今日の講座で心に残ったことは、認知症はさまざまな種類があり、人によっても差があることです。そして、周りの助けと対応で改善することがあると聞いたので、自分で今日教えていただいた事を覚えて今後につなげていきたいと思いました。家族にも「こんな事聞いたよ」と教えていきたいです。
- ◆ 認知症は周りの対応しだいで症状が変わってくるという話があったので、家族など身近な人が認知症になったらちゃんとした対応をしていけるようにしたいです。
- ◆ 認知症になっても、治療をすれば治ることも有る（※）という事です。年のせいだから、と病院に行かないというのは間違っていて、早めに行けばなんとかなることもあるということを知りました。認知症になっても、早めに病院に行けば、改善することを伝えたいです。（※慢性硬膜下血腫、水頭症などが原因の場合）
- ◆ 認知症には治せないが薬で現状維持できる「中核症状」と周りの助けによっては治る「行動・心理症状」があるため、歳のせいせず、よく調べてもらった方がいいということが分かった。
- ◆ 私は今まで認知症っていうのは、全くの違う人になってしまうのが嫌だと思っていました。でも、今日話を聞いて「認知症」という病気でも感情があり心もあり全く普通の人とは変わらないんだ！ってことを深く知りました。「希望」はある！

② 将来、大人になった時に身近な人が認知症になったら、自分だったらどのように接しますか。

- ◆ 人生の先輩として尊敬する気持ちをもって接していきたいです。
- ◆ その人の気持ちを理解しようとする。優しく、おだやかに話す。
- ◆ 普段は変わらないながら必要なことは助けていけるようにしたい。
- ◆ 今回の講座で知ったことを活かしてその認知症の人が少しでもすこしやすくなるように接していきたいです。自分が思っている様にできないかもしれないけどできる限りのことはしたいです。
- ◆ 僕はいつもあまり変わらない態度で接していきたいと思います。また、本人にどうしてほしいかなどを聞いて支えていきたいと思います。
- ◆ 自分も認知症の人になったらということを考えています。そして、どうしてほしいかを本人に聞きたいです。